

## 別記様式

## 議 事 録

会議の名称	令和2年度第7回岩倉市男女共同参画基本計画推進委員会
開催日時	令和3年3月19日(金)午後2時から午後4時まで
開催場所	岩倉市役所 7階 大会議室
出席者 (欠席委員・説明者)	出席委員：日置委員長、杉浦委員、寺澤委員、山田委員、小川委員、 伊藤委員(秘書企画課長)、富委員(福祉課長)、 神山委員(商工農政課長)、石川委員(学校教育課長) 欠席委員：千村委員、村平委員、関戸委員、水越委員、濱田委員、 原委員(健康課長) 事務局：小松協働安全課長、須藤統括主査、夫馬統括主査、 大嶋主事
会議の議題	・協議事項 (1) パブリックコメントの結果について (2) 岩倉市男女共同参画基本計画2021-2030(案)について
議事録の作成方法	■要点筆記 □全文記録 □その他
記載内容の確認方法	■会議の委員長の確認を得ている □出席した委員全員の確認を得ている □その他( )
会議に提出された 資料の名称	【資料1】岩倉市男女共同参画基本計画2021-2030(案) 【資料2】岩倉市男女共同参画基本計画2021-2030概要版(案) 【資料3】パブリックコメントの結果について 【資料4】成果指標の比較 【資料5】「SDGs」の取り扱いについて 【資料6】サテライトセミナー案内
公開・非公開の別	■公開 □非公開
傍聴者数	なし
その他の事項	議事録作成者 須藤

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 あいさつ

日置委員長よりあいさつ

2 協議事項

（１）パブリックコメントの結果について

（２）岩倉市男女共同参画基本計画 2021-2030（案）について

【資料3のうち、1から4について・資料1も用いて事務局より説明】

委員 11ページのグラフで、「父子世帯」という表記が残っている。

事務局 削除します。

委員 11ページの「ひとり親世帯数の推移」は、パブリックコメントの指摘をもとにグラフを変更し「母子家庭」と「父子家庭」を並べたグラフにしたが、これよりも、「母子世帯」と「父子世帯」を縦に積んだグラフの方が、全体のひとり親世帯の増減が分かるのではないか。

委員長 そのように変更してよいか。

委員 異議なし。

委員長 資料3の3と4の指摘事項について、「SNSを通じた嫌がらせ防止の啓発」と「国際交流員の取組」を成果指標とするかどうか説明をしてほしい。

事務局 この2点を成果指標に追加することについては、現状値が把握できていないことと、当委員会で確認がされていないこともあり、次回の見直し時に反映するかどうかを検討させていただきたいと考えています。

委員長 次回、見直しの際にもアンケートをやるということか。

事務局 見直しの際にはアンケートの実施を想定しているため、市民意識の現状値を測れると考えています。その時に、新たに追加する指標も検討しますので、今回の意見については見送りたいと考えています。

【資料3のうち、5について・資料4も用いて事務局より説明】

委員長 資料4の右の表は、最終案か。

事務局 右の表は、資料1の成果指標をまとめたものです。左側がパブリックコメント案における成果指標一覧で、対比できるようにしてあります。

委員長 修正された成果指標では相当削られている。

事務局 パブリックコメント時の成果指標は、ほぼ第5次総合計画から引用しており、個別計画である本計画に直接関連するとは言えない指標もあるため、分かりやすい指標になるように精査しました。

委員 「生活自立支援相談室における延べ相談数」について修正があったが、再掲部分も同様に修正するのか。

事務局 そのとおりです。

委員 「DVの内容まで知っている市民の割合」の認知度を高めるために市民向け講座を開催するような成果指標は設定できないのか。

事務局 第5次総合計画や市民アンケート、または各課の取組から成果指標を抽出したが、独自指標が設定できないわけではない。ただ、担当課との調整が必要ではある。例えば、基本目標5-2はパブリックコメント時に指標がなかったが、「ハラスメントに関する研修の実施数」を独自指標とした。

委員 そのハラスメント研修は市の職員研修か。市民対象講座を開く目標はないのか。

事務局 職員向け研修として設定しています。

委員長 一挙に成果指標が削減された印象がある。削減理由を個別で伺う時間はないが、残されたものはほぼ第5次総合計画の指標であり、外せるものはできるだけ外そうという気がする。例えば4-1は、4項目の減だが、「子育て支援センターの利用者数」や「子育て親育ち講座」などは本計画に入っている。あるいは、児童館の利用、放課後児童クラブなどは、ワーク・ライフ・バランスの上でも必要な指標であり、市民も知りたい指標ではないか。そうした指標が削られている。必要以上に削減されてはいないか。

事務局 パブリックコメント案の指標では、4-1の指標が11個あり、他の指標と比較してバランスも悪い。進捗状況管理では、全ての施策についても報告を受け評価されるので、そこでしっかりと取り組みたい。

委員長 ただ住民にとって基本目標4-1が一番身近な問題だ。多様なニーズに対応した子育て支援は子育て中の女性が気にかかるころだが、4項目だけとなり、うち二つは満足度の割合であり、残りは「ファミリーサポートセンターの会員数」と「子育ての講習会の参加人数」だけである。これでは市民が見ても子育て支援にどれだけ成果指標を挙げて一生懸命に取り組もうとしているか分からない。

事務局 資料4の右表について、削った指標を残すべきだという議論があれば再検討したいと思います。

委員 子育て中の委員の意見はいかがか。

委員 違和感のある項目として、「保育園の待機児童数」が現状値で0人であり、目標値も0人としている指標は外さないでほしい。また、ワーク・ライフ・バランスの部分でも、結婚し子どもができた後に必要な指標として、「児童館の利用」や「放課後児童クラブの設置数」などもあってもよい。

委員 同感だ。かつて岩倉は保育がしやすいまちだと言われてきたが、最近はそうではないという方もいる。例えば「幼い子供を育てるところとして良いと思う市民の割合」を今後上げていくためにも、この指標も変更しなくてもよいのではないか。

委員 感覚的な部分もあるが、いいと思う指標は残しておいてもいいのではないか。

事務局 指標を減らすことが前提ではありません。減らすべきではないという意見もあるため、再度精査します。成果指標の設定がなかった施策に対し、今回新しく追加した指

標もあるので、追加したところは生かしつつ、削ろうとしていた指標のうち、明らかに齟齬がある部分を除いては、そのまま残すということによろしいですか。

委員長 基本目標3-2は、2項目に減らされているが、「地域教育活動における地域と人材の活用件数」は重要だ。これからは地域でNPOや市民活動等で教育活動に携わる人を増やしていかなければならないのだから、こうした指標を削除してしまうのはどうか。もう一度全面的に、本計画の内容に即して、残すものは残し、さらにプラスするぐらいに成果指標は挙げていただければと思う。

事務局 では、その方向性で再度見直し、委員長に確認することによろしいでしょうか。

委員 パブリックコメントの意見では、3章の基本目標1の部分しか指摘されていないので、もし変えるならここだけにすべきではないか。

事務局 パブリックコメント案は最終案ではないため、こうして市民参加の委員会で改めて意見を聴いていることで合意は図れないでしょうか。

委員 パブリックコメントが確定案でないというなら、改めた案で再度パブリックコメントをやるべきだと思う。パブリックコメントを行った上で指摘のない部分を直して、委員会で決定したとはならないのではないか。

事務局 パブリックコメントの実施にあたり、最終案でなければいけないというルールはないのでは。

委員 それはおかしいのではないか。また、今回のパブリックコメントの意見に対しての説明がなされていない。

委員長 委員のご発言どおりだと思う。

事務局 パブリックコメントに対する明確な説明が資料3ではなされていないので、基本目標1を含め全体について、改めて各施策に対応した成果指標を設定していくことが適切であるということを回答する。

事務局 今回パブリックコメントの意見を参考に、事務局で全体を見直し、提案しましたが、パブリックコメントの意義や他の計画との関連も考慮すると今回の取り扱いは適切ではないところもありました。委員会の意向に沿った対応をした上、委員長にご確認を一任させていただきたいと考えます。

委員長 よろしいでしょうか。

委員 異議なし。

**【資料3のうち、6について・資料5も用いて事務局より説明】**

委員長 SDGsを位置づけた計画は画期的ではないか。SDGsの位置づけ方や各個別目標を基本目標にどのように割り当てるか検討したい。

(委員間議論)

委員長 個別目標のアイコンの数字は、重要性の順ではなく、数字の並び順で挿入する。SDGsの個別目標のうち、「5ジェンダー平等」は全ての目標に入るのが当然だと思う。

以下、議論の結果、下記のとおり各基本目標にSDGsの個別目標を位置付ける。

- ・基本目標1「4, 5, 10, 16, 17」
- ・基本目標2「4, 5, 8, 9, 11, 17」
- ・基本目標3「5, 10, 11, 13, 17」
- ・基本目標4「1, 3, 4, 5, 10, 11, 17」
- ・基本目標5「1, 4, 5, 16, 17」

【計画案のその他の検討事項（資料1）】

事務局 資料1の3ページの計画期間の見直し時期の目途について、5年後に見直しをしようとする、市の総合計画や国県の男女共同参画に関する計画が同じく5年ごとの策定であり時期が重なっているため、整合性を図るのが難しい側面があります。また、国勢調査も同様であるため、最新の統計資料が使用できていません。よって、本計画の見直し時期を5年後の2025年ではなく、むしろ6年後の2026年に行うことにしたいとも考えていますがいかがでしょうか。

委員長 ご説明はもっともである。実際には2026年度に行うということか。

事務局 そのとおりです。

委員長 これはよろしいのではないか。むしろできるだけ新しいデータや上位計画に準じた方がよい。了解した。

委員 計画期間自体を10年ではなくて11年にすれば、次の全面改訂のときに対応できるのではないか。

事務局 今の段階で10年計画を11年に変更することは難しいです。次回6年後の見直し時に、状況を踏まえ1年の計画期間延長にて対応できればと考えています。

委員長 行政がそれでいけるならば、それで結構だ。

【概要版について・資料2も用いて事務局より説明】

委員 概要版にもSDGsが関連していることが分かるようになるとよい。

事務局 そのようにしてよろしいですか。

委員長 SDGsが関連していることが分かるよう修正をお願いします。

委員 中学生に配付するという説明があった。中高生でも学校などでSDGsについて聞いているはずなので、岩倉市が取り組んでいることが分かるような概要になるとよい。

委員長 概要版のページ数は決まっているのか。

事務局 資料のとおり8ページとなります。

委員 文字が多く感じる。他市町の概要版を見る機会があるが、図などを活用してすっきりしている印象がある。

事務局 今後デザイン変更します。見栄えが変わると、文章も読みやすくなると思います。

委員 グラフの差し替えを提案する。図2は「女性の年齢別就業率の推移」だが、概要版だけでも「男性の年齢別就業率の推移」を加えて比較したグラフにできないか。

また、図3は「外国籍市民の人口の推移」だが、男女がともに参画する地域社会を形成する部分であり、基本方向で「政策方針決定の場への参画の促進」へと繋がっていくには、「審議会などにおける女性委員比率の推移」のグラフが入った方がよいのではないか。また、本編の女性委員比率の推移のグラフは、5年分しかデータがないので登用率が上昇してきたかどうか分からない。そのため、10年分ぐらいのグラフに変更できないか。

事務局 本編では平成28年からの5年分が載っています。それ以前のデータが分かるようなら、グラフを10年分に変更することとしてよろしいですか。

委員長 本編にない資料を概要版に載せることはできるか。

委員 本編の資料を加工することはあるが、ない資料を載せることには違和感がある。

委員 それでは、男性の就業率を出し、女性の就業率と重ねたグラフにするのはどうか。

委員長 確認だが、概要版に男性の就業率のグラフを入れるということだが、計画の本編にも入れていくということによいか。

事務局 はい。男性の就業率のグラフを作成し、本編にも掲載することとします。また、文字が多いとの指摘については、本編と同様、現状と課題⇒方向性⇒施策という順序で構成していますが、できる範囲で分かりやすくなるよう改善します。

委員 概要版を見て、そのまま本編を確認できるようQRコードを掲載してはどうか。

事務局 いただいた改善事項はできるだけ反映します。なお、印刷は来年度になります。

委員長 それでは概要版については、お気づきの点は今後、事務局へ伝えることとする。

委員長 他に検討事項はあるか。

事務局 他にはありません。

委員長 以上で、パブリックコメントで提案があった部分を含め、基本計画案に対しての議論が終了した。この推進委員会の役割は、計画の策定と、その進捗評価となっている。計画の策定は、これまで7回の会議を重ね、本日の協議の結果、最終案として取りまとめた。これをもって本委員会での合意がなされたものとしてよいか。

委員 異議なし。

委員長 それでは、今日の議論を踏まえた結果をもって最終計画案とする。

### 3 その他

今後のスケジュールの案内

- ・岩倉市男女共同参画サテライトセミナー（共催 公益財団法人あいち男女共同参画財団）  
令和3年3月21日（日）午前10時～正午、岩倉市生涯学習センターにて
- ・来年度の予定

以上